

医療法人 豊田会 刈谷豊田総合病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年12月28日

目 次

0. 刈谷豊田総合病院の基本情報	1
1. 現状と課題	
1) 西三河南部西医療圏	
(1) 医療提供の状況	2
(2) 人口動態	3
(3) 平成28年度病床機能報告と平成37年必要病床数との比較	4～5
2) 刈谷豊田総合病院	
(1) 理念と基本方針	6
(2) 診療実績	6
(3) 県医療計画における当院および近隣基幹病院の位置づけ	7
(4) 県医療計画に基づく医療機能の強化	8～11
3) 課題のまとめ	12
2. 今後の方針	13～14
3. 具体的な計画	
1) 4機能ごとの病床のあり方について	15
2) 診療科の見直しについて	16
3) その他の数値目標について	17

- 1)医療機関名 刈谷豊田総合病院
 2)開設主体 医療法人豊田会
 3)所在地 愛知県刈谷市住吉町5丁目15番地
 4)病床数 710床 (感染症病床:6床 一般病床:701床)

高度急性期	急性期	回復期	休床
45	585	42	38

- 5)診療科目 20科

内科、精神科、神経内科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科

- 6)職員数 1,658人 (平成29年12月1日現在 在籍人員)

医師 219人 医療技術 326人 看護・介護 833人 事務・技能 280人

1. 現状と課題

1)西三河南部西医療圏

(1) 医療提供の状況 愛知県地域医療構想(平成29年10月)

	人口(人)	病床数(床)		一般病床数(床)		療養病床数(床)		精神病床数(床)	
			10万人 当たり		10万人 当たり		10万人 当たり		10万人 当たり
全国	127,298,000	157,722	1,236	897,380	705	328,195	258	339,780	267
愛知県	7,435,996	67,579	909	40,437	544	13,806	186	13,010	175
西三河 南部西	680,729	4,674	687	2,791	410	1,460	215	417	61

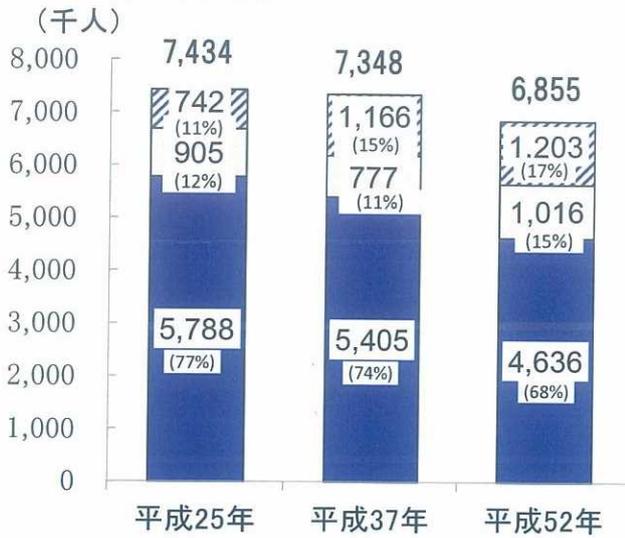
全国平均に比べ、当圏域の人口10万人当たりの**病床数は少ない**

	平均在院日数(日)			病床利用率(%)			病院従事医師数(人)			病院従事看護師数(人)		
		一般 病床	療養 病床	一般 病床	療養 病床		10万人 当たり	100床 当たり		10万人 当たり	100床 当たり	
全国	30.6	17.2	168.3	81.0	75.5	89.9	288,850	227	17.0	747,009	567	47.5
愛知県	25.8	15.2	158.5	81.3	76.0	89.9	14,712	198	20.3	36,145	486	49.9
西三河 南部西	21.8	13.5	143.1	83.6	82.2	90.2	1,005	148	19.9	2,958	434	58.1

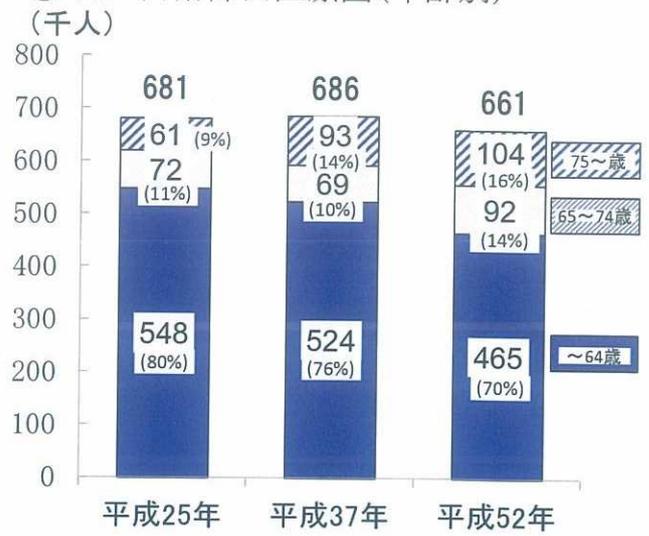
全国平均に比べ、当圏域の**病床利用率は高く、10万人当たりの医師数・看護師数は少ない**

(2) 人口動態 愛知県地域医療構想(平成29年10月)

①愛知県(年齢別)



② 西三河南部西医療圏(年齢別)



【平成25年(2013年)対平成37年(2025年)】

- ・総人口は△86千人(△1%)
- ・65歳以上人口は+296千人(+15%)
- ・75歳以上人口は+424千人(+35%)

平成37年(2025年)に向けて、人口減、高齢者人口増

【平成25年(2013年)対平成37年(2025年)】

- ・総人口は+5千人(+1%)
- ・65歳以上人口は+29千人(+47%)
- ・75歳以上人口は+424千人(+69%)

平成37年(2025年)に向けて、人口増、高齢者人口増

1. 現状と課題

(3)平成28年度病床機能報告と平成37年必要病床数との比較

①愛知県

平成28年度 病床機能報告結果(平成29年8月)

区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答	計
平成37年の必要病床数①	6,907	20,613	19,480	10,773	—	57,773
平成27年病床機能報告②	12,675	24,756	5,925	13,455	1,356	58,167
差し引き(=①-②)	▲ 5,768	▲ 4,143	+ 13,555	▲ 2,682	▲ 1,356	▲ 394
平成28年病床機能報告③	12,458	24,183	6,456	13,355	1,572	58,024
差し引き(=①-③)	▲ 5,551	▲ 3,570	+ 13,024	▲ 2,582	▲ 1,572	▲ 251

② 西三河南部西医療圏

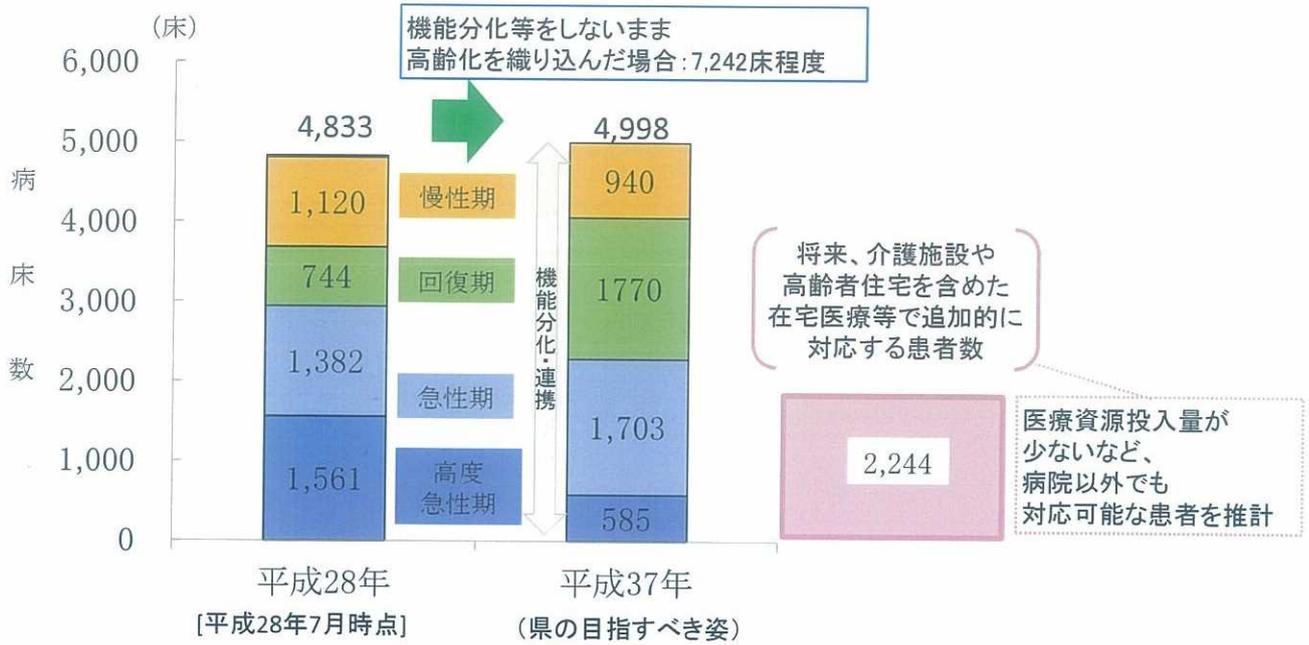
区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答	計
平成37年の必要病床数①	585	1,703	1,770	940	—	4,998
平成27年病床機能報告②	1,523	1,360	753	1,122	65	4,823
差し引き(=①-②)	▲ 938	+ 343	+ 1,017	▲ 182	▲ 65	+ 175
平成28年病床機能報告③	1,561	1,382	744	1,120	26	4,833
差し引き(=①-③)	▲ 976	+ 321	+ 1,026	▲ 180	▲ 26	+ 165

▲ 655

現在の病床機能転換と新規増床

西三河南部西医療圏は、平成37年(2025年)に向けて、病床が不足(165床)

「高度急性期」、「慢性期」は過剰。「急性期」、「回復期」が不足 ⇒ 病床機能の再編が必要



回復期機能の病床を確保に加え、在宅医療の充実・強化が必要

1. 現状と課題

2)刈谷豊田総合病院

(1) 理念と基本方針

理念 保健・医療・福祉分野で社会に貢献します
基本方針 温かい思いをこめた、質の高い保健・医療・福祉サービスを提供します

(2) 診療実績

	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度
A:外来患者数(1日平均)	人	1,972	1,949	1,898
B:入院患者数(1日平均)	人	636	654	658
C:平均在院日数	日	12.1	12.1	11.4
D:病床稼働率	%	99.1	98.2	98.8
E:紹介患者数	人	29,802	32,974	34,545
F:逆紹介患者数	人	23,174	25,295	25,422
G:救急患者数	人	37,118	35,394	32,670
H:うち入院患者数	人	6,462	6,398	6,800
I:うち救急車受け入れ数	人	9,530	9,491	10,028
J:手術件数	件	6,927	7,037	7,145
K:うち全身麻酔件数	件	4,308	4,394	4,367

外来患者数(A)は減少しているが、紹介患者数(E)は増加している
 入院患者数(B)は増加。平均在院日数(C)は短縮し、病床稼働率(D)は高レベルで推移
 救急患者数(G)は減少傾向だが、入院患者数(H)、救急車受入数(I)は増加し、手術件数(J)も増加

急性期病院への機能強化を展開中

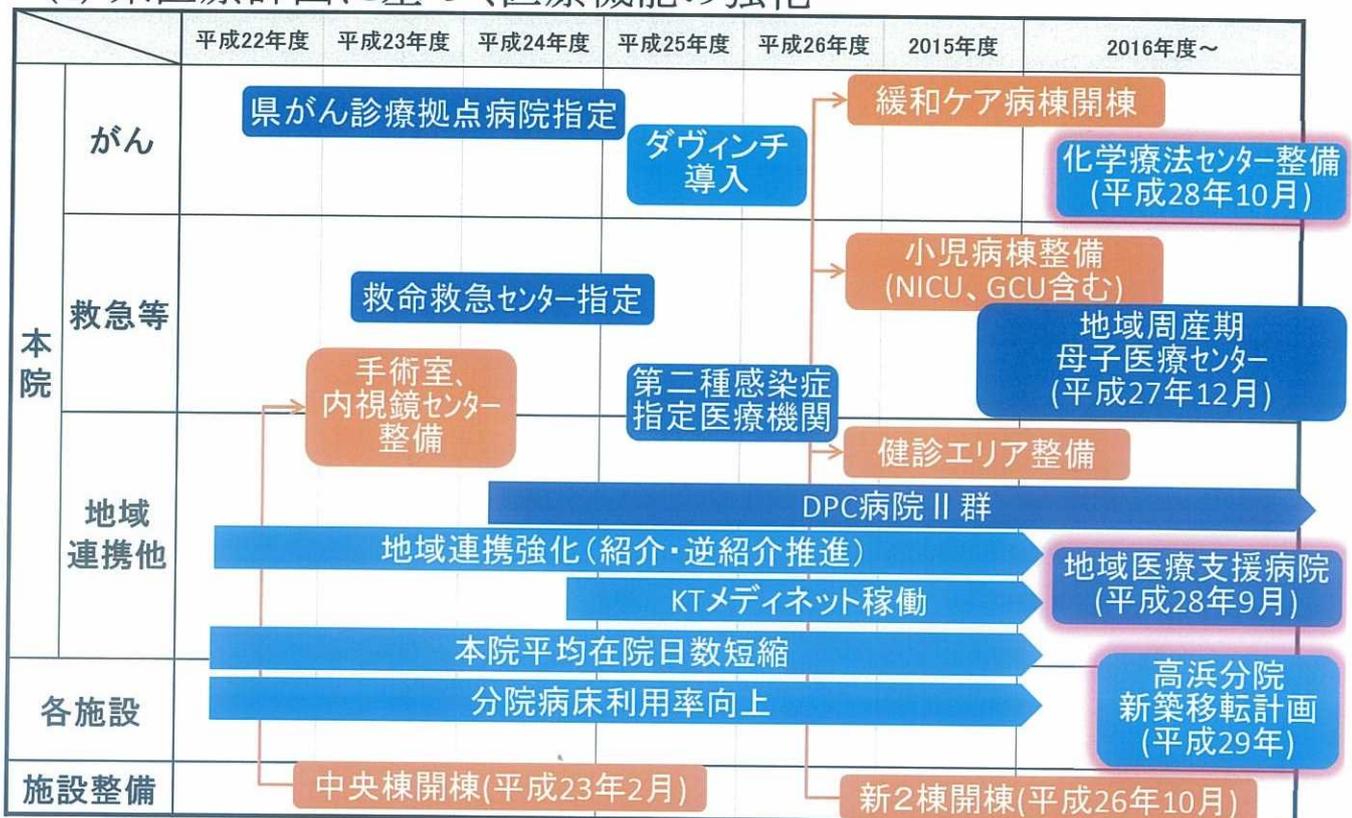
(3) 県医療計画における当院および近隣基幹病院の位置づけ

医療圏		西三河南部西		西三河南部東	西三河北部	
病院名		当院	安城更生	岡崎市民	豊田厚生	トヨタ記念
病床数		710床	749床	715床	606床	513床
5疾病	がん診療連携拠点病院	○(県)	◎(国)	×	◎(国)	×
	脳卒中高度救命救急医療機関	○	○	○	○	○
	急性心筋梗塞高度救命救急医療機関	○	○	○	○	○
	糖尿病専門医数	2名	4名	2名	2名	2名
	精神疾患後方支援病院	×	×	×	×	×
5事業	救急医療体制(救命救急センター)	○	○	○	○	○
	中核災害拠点病院	○	○	○	○	○
	地域の小児基幹病院	○	○	○	○	○
	周産期母子医療センター※1	○(地域)	◎(総合)	○(地域)	×	○(地域)
	へき地医療拠点病院	×	×	×	×	×
その他	地域医療支援病院	○	○	○	×	×
	第二種感染症指定	○	×	×	○	×

※1 周産期母子医療センター 総合:最重篤な場合の対応、地域:ハイリスク分娩等重篤な場合の対応

当院は地域の基幹病院としての役割を担う

(4) 県医療計画に基づく医療機能の強化



がん、救急医療(小児・周産期含む)、地域連携、予防医療を中心に機能強化を実施

(4) 県医療計画に基づく医療機能の強化

①がん診療体制の強化に向けた取り組み

	主な取り組み
平成20年6月	愛知県がん診療拠点病院に指定
平成21年2月	手術室の整備(9→12室)
平成25年4月	内視鏡下手術支援ロボット「ダヴィンチSi」を導入
平成25年4月～	大学病院との連携強化(脳腫瘍患者の受け入れ)
平成26年10月	緩和ケア病棟オープン(20床) 高機能放射線治療装置の導入
平成28年10月	化学療法センターの開設

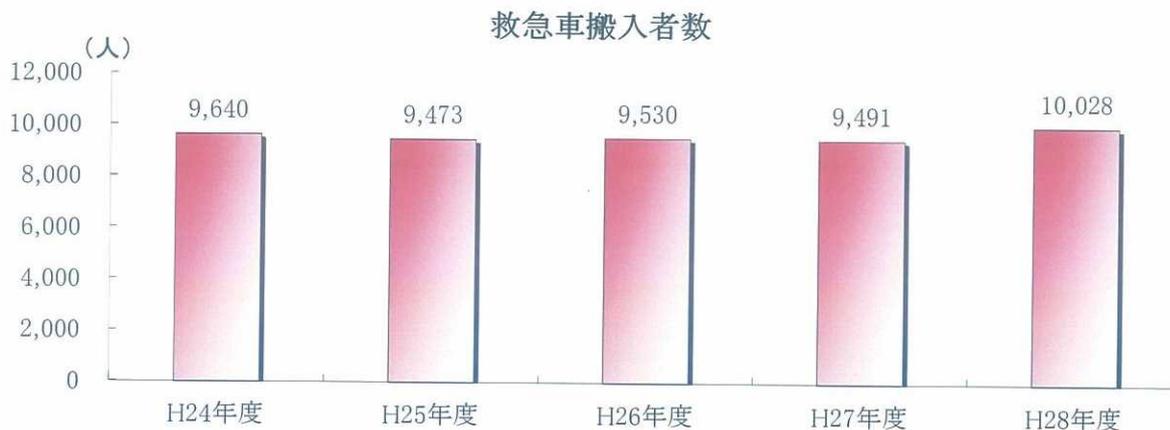


がん診療拠点病院として、がん三大療法である「手術」・「放射線治療」・「化学(薬物)療法」等の整備を実施

(4) 県医療計画に基づく医療機能の強化

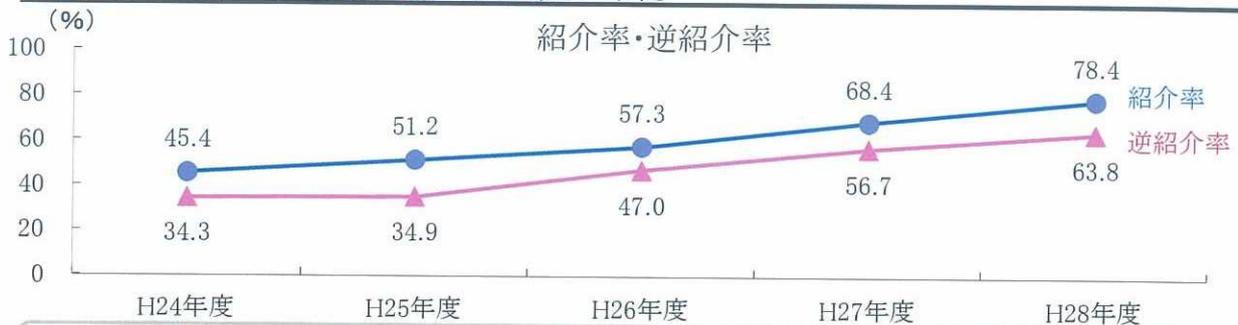
②救急医療等の強化に向けた取り組み

	主な取り組み
平成23年3月	愛知DMAT(災害派遣医療チーム)指定医療機関に指定
平成23年4月	救命救急センターに指定 災害拠点病院(地域中核災害医療センター)に指定
平成26年1月	ドクターカー運用開始(開院50周年記念事業として各社より寄贈)
平成26年10月	地域周産期母子医療体制の整備(NICU,GCU含む)
平成27年12月	地域周産期母子医療センターの認定



(4) 県医療計画に基づく医療機能の強化
 ③地域医療連携強化に向けた取り組み

	主な取り組み
平成24年10月	当院を中核の医療機関とした刈谷市・知立市・高浜市・東浦町の3市1町を結ぶ地域医療ネットワーク開始 (KTメディネット) ①当院の診療・手術記録、画像など閲覧 ②当院への紹介患者予約
平成26年11月	外来診療を「紹介専門型外来」へ移行
平成26年12月	総合入院体制加算の取得
平成28年4月	紹介状なし初診の定額負担引き上げ(3,240→5,400円)
平成28年9月	地域医療支援病院の承認



国の進める外来医療の機能分化に基づき、医療必要度の高い患者の**紹介**受け入れ・病状が安定した患者の「かかりつけ医」など診療所への**逆紹介**を推進

3)課題のまとめ

課題1) 地域医療構想に基づく医療体制の整備

- ・急性期病院として関連機関との連携し地域完結型医療の整備

課題2) 急性期病院としての医療技術レベルの向上

- ・がんなどの高度医療への機能強化

課題3) 高齢者患者増加に対応した在宅医療の整備

- ・退院後の受け皿となる在宅医療の拡充

課題4) 健康を維持する予防医療の拡充

- ・早期発見・早期治療を目指した健診の充実

1) 地域医療構想に基づく医療体制の整備

○地域医療構想に基づく高度急性期・急性期病床の整備

- ・地域で必要とされる高度急性期・急性期の必要病床数を確保し、計画的に整備する
- ・地域の診療所からの紹介患者と救急患者を常時に受入可能な体制を整える
- ・急性期治療の完了した患者の退院・転院を促進することで、急性期患者用の病床を確保する

2) 急性期病院としての医療技術レベルの向上

○急性期患者に対応する診療体制の整備

- ・専用性の高いがん放射線治療機導入し、がん放射線治療実績を向上させる
- ・化療センター活用により、がん外来化学療法の治療実績を向上させる
- ・心筋梗塞患者に対応する体制を整え、治療実績を向上させる
- ・脳卒中患者の診療体制を整備し、治療実績を向上させる

3) 高齢者増加に対応した在宅医療の整備

○関係機関と連携した訪問看護ステーションの利用者数の増加

- ・地域の行政機関、診療所やケアマネージャーとの連携を強化することにより訪問看護ステーションの利用者数を増加させる

4) 健康を維持する予防医療の拡充

○企業健診の新規獲得活動の強化と新メニュー提案による健診利用者数の増加

- ・未契約企業の洗出しと営業活動により、契約企業を増加させる
- ・契約健保組合に対し、魅力ある新メニューを提案し、新規利用者を発掘する

1) 4機能ごとの病床のあり方について

(1) 今後の方針

	高度急性期	急性期	回復期	休床
現在 平成29年	45	585	42	38
将来 平成37年	45	585	42	0

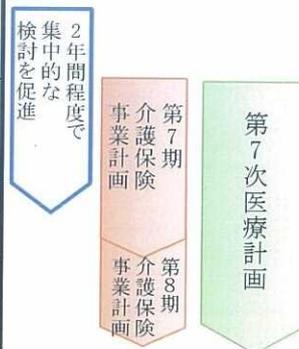
病床機能の変更は無し

平成31年度に
高浜分院に移管

(2) 年次スケジュール

	取組内容	到達目標
平成29年度	○豊田会にて 今後の体制の協議検討	○自施設の今後の病床のあり方 を決定(本プラン策定)
平成30年度	○地域の医療機関と 相互協議の実施	○地域医療構想調整会議に おいて自施設の病床のあり方 に関する合意を得る
平成31～32年度	○決定事項の実践	○必要な整備計画の策定
平成33～35年度	○決定事項の見直しと評価	○必要な整備事項の適宜修正

(参考) 関連施策等



3. 具体的な計画

2) 診療科の見直しについて

(1) 現在(平成29年) 20科

内科、神経内科、精神科、循環器科、小児科、
外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、
皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、
眼科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科

(2) 将来(平成37年) 34科

【維持】 17科

神経内科、精神科、小児科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、
皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、麻酔科、
リハビリテーション科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科

【変更】 13科

総合内科、消化器内科、呼吸器・アレルギー内科、腎臓内科、
内分泌・糖尿病内科、循環器内科、血液内科、腫瘍内科、感染症内科、
消化器・一般外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、

【新設】 4科

救急科、緩和ケア科、形成外科、臨床検査科

内科、外科を専門分野単位に細分化し、循環器科を循環器内科に名称変更
緩和ケア科、形成外科、救急科、臨床検査科を新設

3) その他の数値目標について

(1)医療提供に関する項目

- ・ 病床稼働率: 90%以上
- ・ 手術件数: 現在件数の維持
- ・ 紹介率: 地域医療支援病院要件65%
- ・ 逆紹介率: 地域医療支援病院要件40%以上

(2)経営に関する項目

- ・ 人件費率: 現状維持

(3)その他

- ・ 地域医療介護総合確保基金を活用する計画はない

以 上